

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO 14001を取得している(2002年度)			3.9		6	7				12	13.3	14	15				
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・HPで環境方針を開示している										12.6							
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光パネルを設置し、工場やオフィスへの利用に取り組んでいる							7.2					13					
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・地球環境と生物多様性に配慮され、合法材で製造していることが確認されている製品を利用している										12.2	13	14	15				
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄を禁止する内容を就業規則に明記し、周知している ・【予定】行動規範を整備し、社内展開を図る															16 16.5		
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・【予定】不正競争行為に関与しない内容の行動規範を整備し、社内展開を図る															16		
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産権の取得はしていない ・【予定】将来の製品開発のため特許調査を行う								8.2 8.3	9								
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・就業規則に明記し、周知している ・「プライバシーポリシー」を定めて、HPで公開している ・パスワード及び施錠管理で特定者のみ取り扱える仕組みを整備している															16		
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・自社調達の材料は、対象鉱物を取り扱っていないことを確認している															16		
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】取引パートナーとの信頼関係を強化する一環として、相互間にて適切な対応について改めて共有する					5				8		10	12	13	14	15	16	17
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・全て材料成分の明確な客先指定の原材料を使用し、製造している ・消耗品・副資材はMSDSを入手し、環境に配慮した管理をしている			3.9								12.4						
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・品質基本方針を策定し、社員に配布することで社内共有している ・品質を保証するための体制・仕組みを構築している ・ISO 9001を取得している(2001年度)										9							
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・顧客開発品の省エネルギー化に取り組んでいる ・【予定】環境に配慮した製品の開発に取り組む						6				12	13	14	15				
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・顧客開発の環境製品の一部品を製造することで環境配慮に貢献している ・【予定】モノ造りの楽しさを伝承するために、魅力ある自前製品の開発に取り組む	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域の製造業発展のために、若者(高校生など)の実体験研修などを積極的に実施している				4					9		11	12		14	15		17		
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域の次世代人材(子ども)育成の一助になるように、積極的に関わりを持っている(小、中、高校などへの寄付) ・消防団協力事業所として認定取得				4							11			14	15		17		
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	・地域資源(産物)を購入し、県外配布を実施し地域産業の消費とPRIに努めている									8	9		11	12	13					
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化し、HPIに公開している ・社内に掲示し、社員に説明・配布し共有している ・中期計画、年次経営目標を策定し、社員と共有し達成に向け推進している									8	9								17	
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・就業規則に明記している ・【予定】リスクマネジメント(No39)整備時に、体制・仕組みを構築する																		16	
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・担当役員(取締役)が対応している																		16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・ステークホルダーと適宜及び定期的に対話することで、情報を提供あるいは共有している ・HPIに情報を公開し、適切に対応している																		16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・【予定】経営及び独自のリスクを洗い出し、現状を評価・適切な対策を講じる																			16
40	□	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】CSRに関する方針の策定と、それに伴う具体的な取り組みを整備する																			16
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】事業継続計画(BCP)を策定し、既の実施している定期的訓練と合わせて実施する										9		11		13	13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・将来的な事業承継に対する検討と対策を実施している									8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)